

平成26年11月7日
一般社団法人日本自動認識システム協会
研究開発センター 酒井

第2回 生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会 議事録

1. 日時：平成26年11月7日 13:00～15:00
2. 場所：一般社団法人 日本自動認識システム協会（JAISA） B会議室
3. 次第：
 1. 開会の挨拶 事務局 13:00～
 2. 配布資料の確認 事務局 13:01～
 3. 議事 半谷委員長
 - 1) 委員長挨拶 委員長 13:05～
 - 2) 新委員の紹介 事務局 13:07～
 - 3) 前回議事録確認 事務局 13:10～
 - 4) 調査結果中間報告 中村委員 13:20～
 - 5) その他
 - ・作業委託について 事務局 14:45～
 4. 事務連絡 事務局 14:50～
 - 1) 今後の日程
 - 2) 写真撮影など
4. 出席者：(敬称略)
[委員]
 - 半谷精一郎 東京理科大学
 - 埴俊浩 日本電気(株)
 - ×寶木和夫 (独法)産業技術総合研究所
 - 平岡良彦 セコム(株)
 - 吉田稔 西宮市情報センター
 - 鷺宏行 (株)NTTデータ
 - 村上秀一 (株)日立製作所
 - 平野誠治 凸版印刷(株)
 - 中村敏男 (株)OKI ソフトウェア
 - 齋藤雄一郎 富士通(株)
 - 清水光俊 川口市[オブザーバ]
 - 山田徳幸 日本電気(株)
 - 高田直幸 セコム(株)
 - ×中山和泉 経済産業省
 - 岩永敏明 経済産業省
 - 大山水帆 川口市[事務局]
 - 酒井康夫 (一社)日本自動認識システム協会
 - 山口理津子 (一社)日本自動認識システム協会
5. 配布資料
 - 資料1 第2回生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会アジェンダ
 - 資料2 生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会名簿
 - 資料3 第1回 生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会 議事録

資料4 調査中間報告

資料5 避難所調査対象書籍調査中間報告詳細

資料6 委託作業の見積り依頼書

6. 議事内容

1) 開会の挨拶

(一社) 日本自動認識システム協会 (JAISA) 事務局より、開会の挨拶があった。

2) 委員長挨拶および新委員の紹介

半谷委員長よりご挨拶をいただいた後、新委員と前回欠席の委員の挨拶があった。

3) 前回議事録確認

資料3を用いて、前回議事録の確認があり、承認された。

4) 調査結果中間報告

中村委員より資料4を用いて、「調査結果中間報告」があった。

(詳しくは資料4を参照のこと)

前回の委員会の結果も受け、文献調査を中心に避難所の状況について調査をしたことの説明があった。文献の数が多いため今回は中間報告となるとのこと、次回に引き続き調査していきたい旨の報告があった。

調査した文献に関しては、資料5を用いて説明があった。

(詳しくは資料5を参照のこと)

アジェンダの項目を「調査状況報告と今後の方向性」から「調査結果中間報告」に修正するよう中村委員より依頼があった。

議論した結果、生体認証は名簿作成をし、それを活用する用途を重視し検討をすすめることとなった。

今後の課題として以下の調査を行っていくこととなった。

- 今ある被災者支援システムに生体認証をどのように組み込んでいくか。
- 生体認証を事前登録することによるメリット、他のサービスとの差別化を図る。
- 私的避難所での急いた認証の取り扱い、可能性について検討する。
- 被災者だけではなく、管理側の生体認証について検討する。

4) その他 作業委託について

事務局より、本事業の一部として、被災者支援システムに本事業で検討する被災者支援システムの生体認証部分を組み込むためのインターフェースの部分はどうしていくかを検討し、プログラム仕様書を作成する「被災者支援システムへ生体認証組込部のプログラム仕様作成」作業

を外部に委託して実施することを計画していることと、「被災者支援システムへ生体認証組込部のプログラム仕様作成」作業の委託先の選定のため、関係者の皆様に見積り依頼する旨の説明があった。

その後、資料6を用いて見積もり依頼についての説明があった。

(詳しくは資料6を参照のこと)

5) 次回以降の予定等 (仮)

- ・第3回委員会： 12/19 (金) 13:00~15:00
- ・第4回委員会： 2015年2月下旬

以上